

激変する環境に対応するBPMSに必要なこと
= すぐ利用できること、将来に向けた柔軟性
→ WindowsベースのBPMS+XMLDBの柔軟性

AgilePointBPMS+NeoCoreXMS 連携ソリューション



経営環境や顧客ニーズの変化に対応するためにはBPMSが有効です。

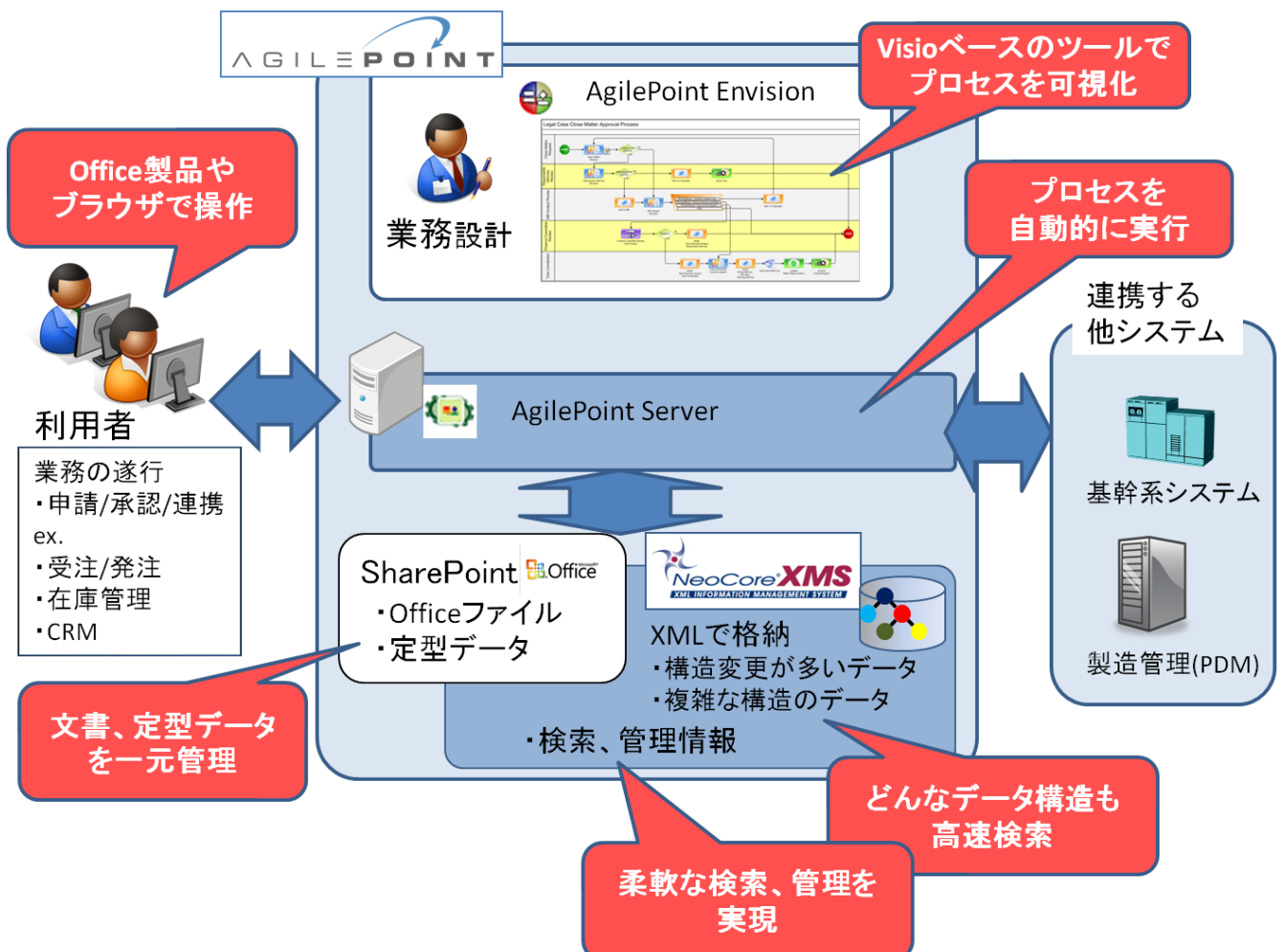
BPMSを利用することで処理が自動的に実行され会社全体の生産性が向上するだけでなく、業務プロセスが可視化され、見直しや変更が容易になります。

効果を上げるためには短期間で活用できることが必要です。そのためにはシステムが短期間に導入できるだけでなく、利用者が抵抗なく受け入れられることが重要です。

さらに将来の変化に柔軟に対応できることも不可欠です。

この実現にはWindowsベースのAgilePointBPMSと柔軟なNeoCoreXMSの組み合わせが最適です。

全体のイメージ



すぐ活用できる+将来に向けた柔軟性→激変する環境に対応

AgilePointBPMSではMicrosoft Visioをベースとした描画ツールで専用の図形パーツを配置して業務プロセスを定義します。通常のVisioと同じように説明文を追加したり、参照・印刷できるので関係者と検討したり、周知することも簡単です。業務では使い慣れたオフィス製品やブラウザから利用できます。関連する文書はMicrosoft SharePointで業務に対応づけて一元管理できるようになります。

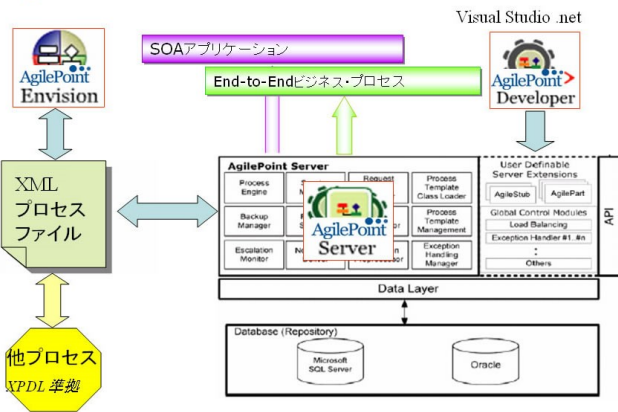
しかし製品を構成する部品の情報、マーケティング方針に合わせて収集する顧客属性など単に格納するだけでなく活用すべきデータもあります。これらのデータの多くは構造が複雑で頻繁に変更されます。こうしたデータもNeoCoreXMSに格納すれば、構造の複雑さや変化に関係なく高速に検索できます。蓄積される文書の管理情報をNeoCoreXMSに格納すれば業務のより詳細な管理や分析も可能です。

さらに最小構成で初期費用を抑え、対象範囲に合わせて拡張することも可能です。

AGILE POINT AgilePointBPMS

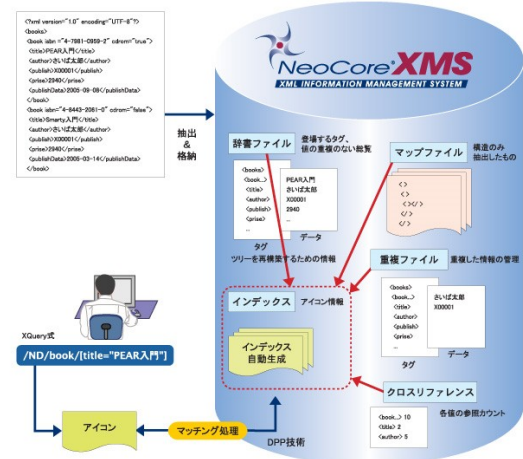
.NET技術を利用した、WindowsベースのBPMS。Visioをベースとしたツールを使って業務プロセスを定義し、それに基づき他のシステムとの連携など処理を自動的に実行させることができます。Microsoft SharePointと組み合わせることで、マイクロソフトOffice製品と高い親和性を持ちます。拡張機能を独自に開発することもできます。

AgilePoint Serverアーキテクチャー



NeoCoreXMS NeoCoreXMS

構造が頻繁に変更されるデータの格納に最適な“やわらかい”データベース・エンジン。どのようなデータもXML形式になっていれば、構造(スキーマ)定義なしに、その構造も含めて格納、管理することができます。さらに特許技術「DPP」で高速に検索できます。国内出荷ライセンス数は500ライセンスを超え、国内No.1シェア(富士キメラ総研調べ)のXMLデータベースです。



お問い合わせ先



<http://www.nippon-rad.co.jp/>

日本ラッド株式会社

東京都新宿区四谷4-16-3
日本生命新宿御苑前ビル8F
TEL:03-5919-3001 (担当:川合)
Mail: t_kawai@nippon-rad.co.jp



<http://www.ascentn.co.jp/>

アセントン株式会社

東京都品川区西五反田7-13-6
SDI五反田ビル10F
TEL:03-5719-0010



<http://www.cybertech.co.jp/>

株式会社サイバーテック

東京都千代田区神田錦町3-5-1
興和一橋ビル別館7F
TEL:03-5577-8000